

### 3 特別会計

#### (1) 概要

特別会計は、特定の事業で、特定の財源によりまかなわれ、一般会計と区分して経理する必要がある場合に条例で設置する会計である。

#### ア 執行状況

令和元年度の国民健康保険特別会計始め12特別会計の決算額の合計は、歳入 1兆

区 分	歳入予算現額 A	調 定 額 B	歳入決算額		不納欠損額 D
			金 額 C	対予算 (C/A) ×100	
	千円	千円	千円	%	千円
国民健康保険	206,841,328	210,838,854	205,421,457	99.3	767,396
後期高齢者医療	54,481,515	54,710,072	54,598,801	100.2	15,829
介護保険	196,930,020	198,199,846	197,322,967	100.2	316,409
母子父子寡婦福祉 資金貸付金	1,233,259	1,882,685	1,227,225	99.5	7,934
市場及びと畜場	7,995,108	7,579,001	7,577,778	94.8	0
名古屋城天守閣	3,279,884	2,239,146	2,239,146	68.3	0
土地区画整理 組合貸付金	175,000	175,000	175,000	100	0
市街地再開発事業	388,701	331,251	331,251	85.2	0
墓地公園整備事業	1,343,693	1,323,904	1,323,904	98.5	0
基 金	124,268,441	122,064,606	122,064,606	98.2	0
用地先行取得	12,984,756	11,737,612	11,737,612	90.4	0
公 債	530,067,252	479,765,564	479,765,564	90.5	0
合 計	1,139,988,958	1,090,847,547	1,083,785,318	95.1	1,107,570

837億 8,531万円、歳出 1兆 783億 5,882万円であり、予算現額に対する決算額の割合は歳入95.1%、歳出94.6%となっている。

特別会計の会計別決算状況は次表のとおりである。

収入未済額 B-C-D	予算現額と歳入 決算額の差引額 C-A	歳出予算現額 E	歳出決算額		翌年度 繰越額 G	不 用 額 E-F-G
			金 額 F	執行率 (F/E) ×100		
千円	千円	千円	千円	%	千円	千円
4,650,000	△1,419,870	206,841,328	205,421,457	99.3	0	1,419,870
95,441	117,286	54,481,515	53,368,084	98.0	0	1,113,430
560,469	392,947	196,930,020	193,407,483	98.2	0	3,522,536
647,524	△6,033	1,233,259	975,246	79.1	0	258,012
1,222	△417,329	7,995,108	7,577,778	94.8	0	417,329
0	△1,040,737	3,279,884	2,239,146	68.3	131,000	909,737
0	0	175,000	175,000	100	0	0
0	△57,449	388,701	331,251	85.2	0	57,449
0	△19,788	1,343,693	1,323,904	98.5	0	19,788
0	△2,203,835	124,268,441	122,064,606	98.2	58,350	2,145,485
0	△1,247,144	12,984,756	11,737,053	90.4	97,559	1,150,144
0	△50,301,687	530,067,252	479,737,812	90.5	25,985,000	24,344,439
5,954,659	△56,203,640	1,139,988,958	1,078,358,825	94.6	26,271,909	35,358,223

## イ 決算収支状況

特別会計の決算額の合計は前年度に比べて歳入は 440億 5,931万円（4.2%）、歳出は 461億 6,114万円（4.5%）それぞれ増加した。特別会計の歳入歳出決算差引額の合計は54億 2,649万円であり、この額から翌年度へ繰り越すべき財源55万円を差し引いた実質収支は54億 2,593万円となった。

区 分	歳入決算額		対前年度比較	
	令和元年度 A	平成30年度 B	差 引 額 A-B	増減率
	千円	千円	千円	%
国民健康保険	205,421,457	209,745,300	△ 4,323,842	△ 2.1
後期高齢者医療	54,598,801	52,971,746	1,627,055	3.1
介護保険	197,322,967	191,145,511	6,177,456	3.2
母子父子寡婦福祉 資金貸付金	1,227,225	1,253,824	△ 26,598	△ 2.1
市場及びと畜場	7,577,778	7,667,500	△ 89,722	△ 1.2
名古屋城天守閣	2,239,146	3,481,210	△ 1,242,064	△ 35.7
土地区画整理 組合貸付金	175,000	464,532	△ 289,532	△ 62.3
市街地再開発事業	331,251	663,070	△ 331,819	△ 50.0
墓地公園整備事業	1,323,904	1,066,693	257,210	24.1
基金	122,064,606	101,060,514	21,004,092	20.8
用地先行取得	11,737,612	10,226,768	1,510,844	14.8
公債	479,765,564	459,979,328	19,786,235	4.3
合 計	1,083,785,318	1,039,726,002	44,059,315	4.2

また、当年度の歳入歳出決算差引額は、全額翌年度へ繰り越された。  
 なお、各会計別の主な増減理由は会計別決算状況において述べる。  
 特別会計の会計別決算収支状況は次表のとおりである。

歳出決算額		対前年度比較		歳入歳出 決算差引額	翌年度 繰越財源	実質収支
令和元年度 C	平成30年度 D	差引額 C-D	増減率			
千円	千円	千円	%	千円	千円	千円
205,421,457	209,294,379	△ 3,872,922	△ 1.9	0	0	0
53,368,084	51,697,564	1,670,520	3.2	1,230,716	0	1,230,716
193,407,483	185,600,775	7,806,707	4.2	3,915,484	0	3,915,484
975,246	1,023,987	△ 48,741	△ 4.8	251,979	0	251,979
7,577,778	7,667,500	△ 89,722	△ 1.2	0	0	0
2,239,146	3,481,210	△ 1,242,064	△ 35.7	0	0	0
175,000	464,532	△ 289,532	△ 62.3	0	0	0
331,251	663,070	△ 331,819	△ 50.0	0	0	0
1,323,904	1,066,693	257,210	24.1	0	0	0
122,064,606	101,060,514	21,004,092	20.8	0	0	0
11,737,053	10,225,137	1,511,915	14.8	559	559	0
479,737,812	459,952,309	19,785,502	4.3	27,752	0	27,752
1,078,358,825	1,032,197,677	46,161,147	4.5	5,426,492	559	5,425,933

## ウ 不納欠損額及び収入未済額の状況

特別会計の不納欠損額<sup>(注)</sup>の合計は11億757万円であり、前年度に比べ1億3,206万円(13.5%)増加した。これは主に、介護保険特別会計の不納欠損額が1億662万円増加したことによるものである。

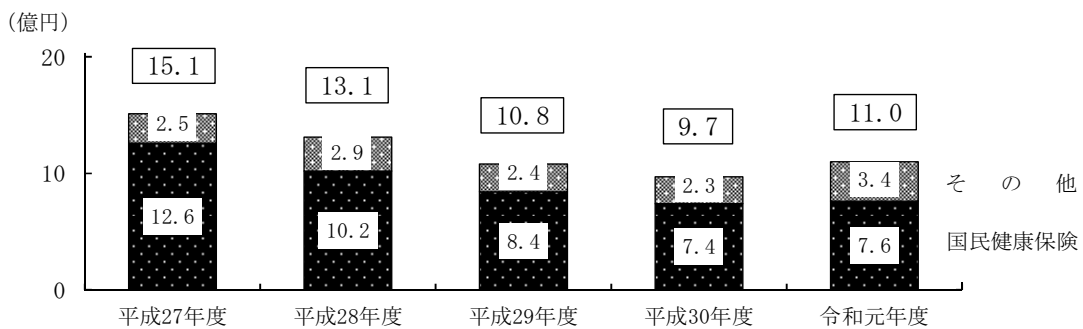
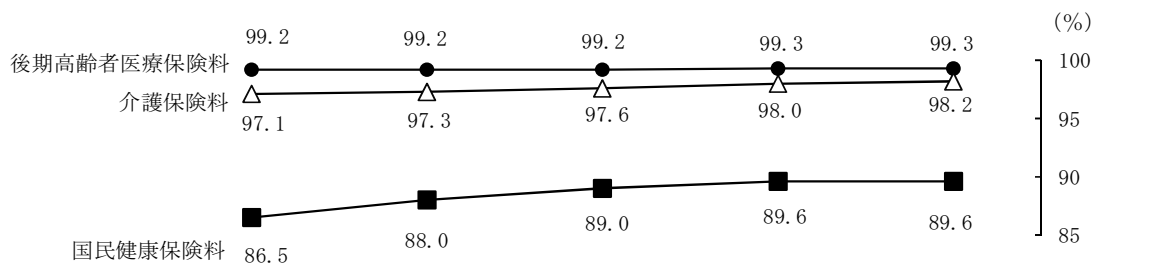
特別会計の収入未済額<sup>(注)</sup>の合計は59億5,465万円であり、前年度に比べ3億1,809万円(5.1%)減少した。これは主に、介護保険特別会計の収入未済額が2億3,229万円減少したことによるものである。

なお、不納欠損額及び収入未済額の詳細は各会計で述べる。

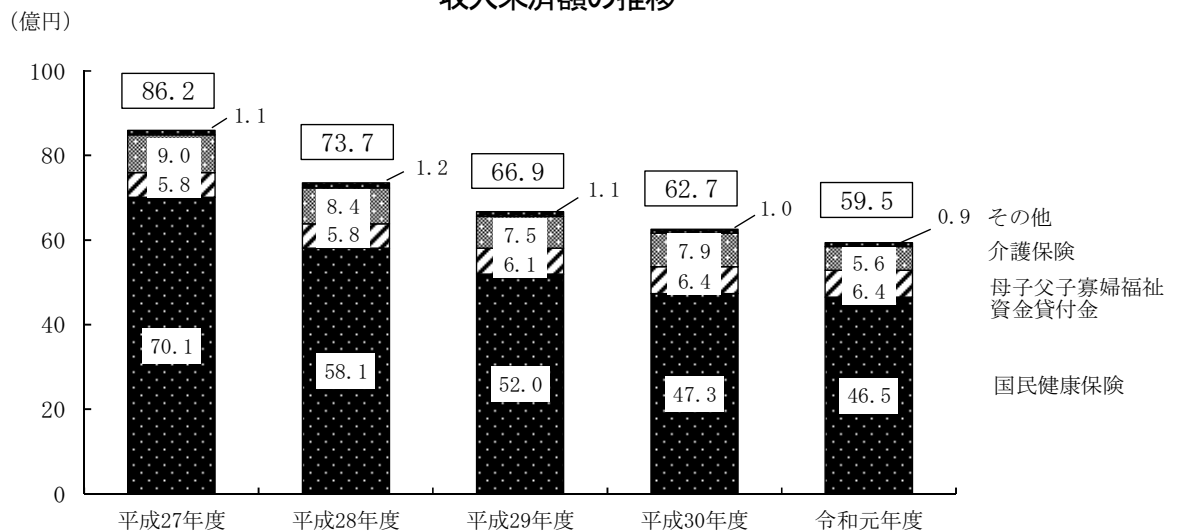
保険料等の収納率及び不納欠損額の推移、収入未済額の推移は次図のとおりである。

(注) 不納欠損額及び収入未済額については13ページを参照。

### 保険料等の収納率及び不納欠損額の推移



### 収入未済額の推移



## エ 翌年度繰越額及び不用額の状況

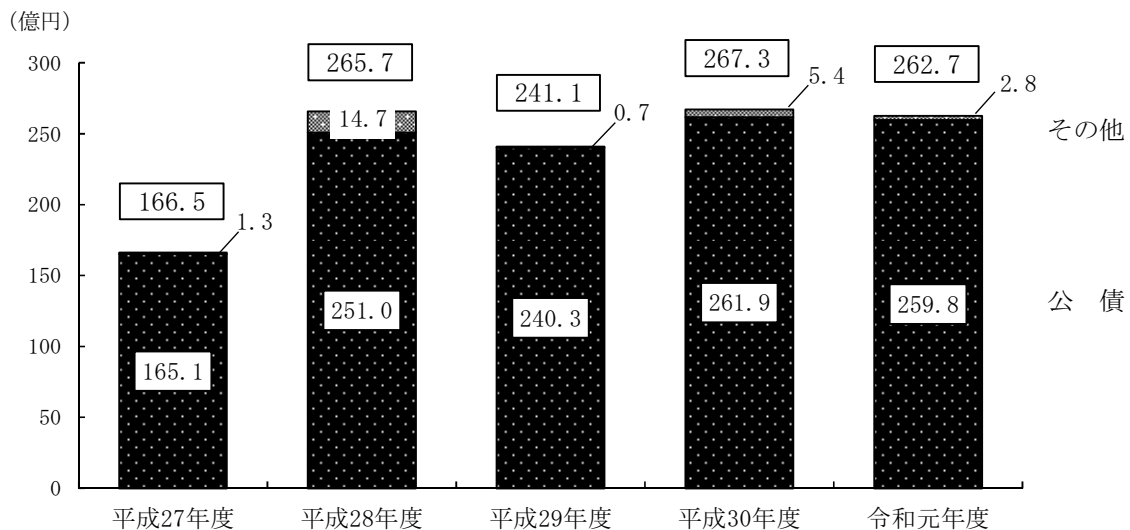
特別会計の翌年度繰越額の合計は 262億 7,190万円であり、前年度に比べ 4億 6,796万円（1.8%）減少した。これは主に、公債特別会計における翌年度繰越額が 2億 900万円、市場及びと畜場特別会計における翌年度繰越額が 2億 300万円それぞれ減少したことによるものである。

また、不用額の合計は 353億 5,822万円であり、前年度に比べ 5億 947万円（1.4%）減少した。これは主に、公債特別会計における不用額が 9億 8,727万円増加したものの、基金特別会計における不用額が14億 3,864万円減少したことによるものである。

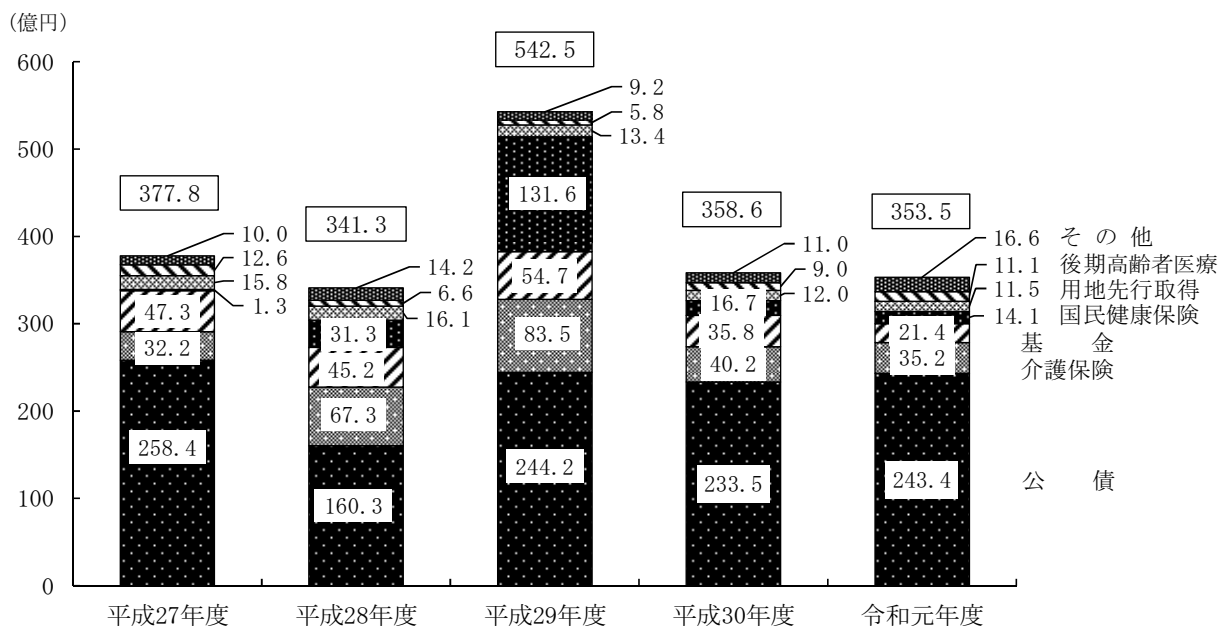
なお、翌年度繰越額及び不用額の詳細は各会計で述べる。

翌年度繰越額及び不用額の推移は次図のとおりである。

### 翌年度繰越額の推移



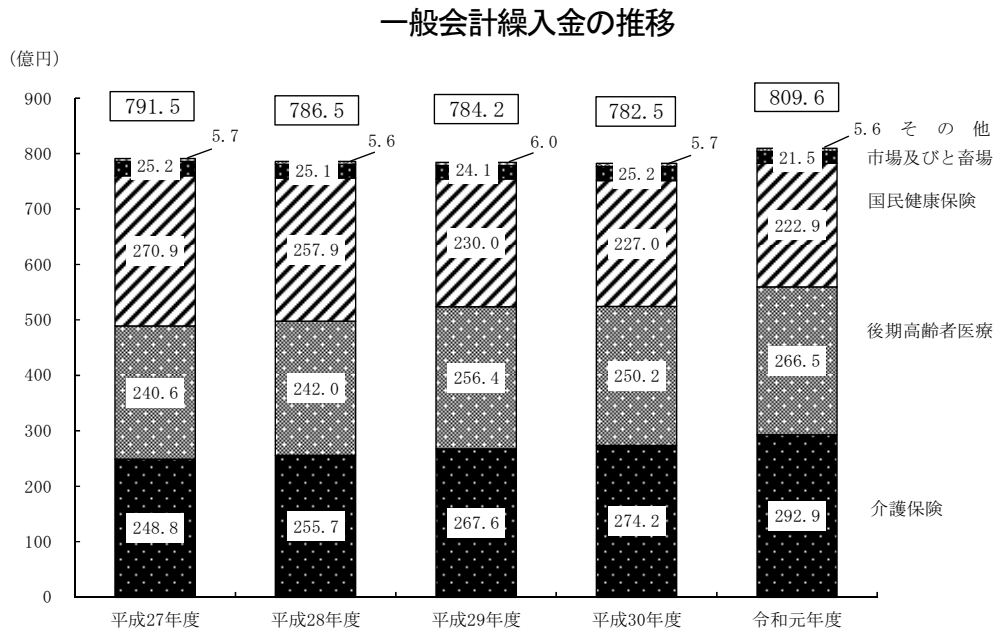
### 不用額の推移



## オ 一般会計からの繰入れ状況

経営又は事業の実施のため設置された特別会計における一般会計繰入金の総額は 809 億 6,878万円であり、前年度に比べ27億 1,419万円（3.5%）増加した。これは主に、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計における繰入金が増加したことによるものである。

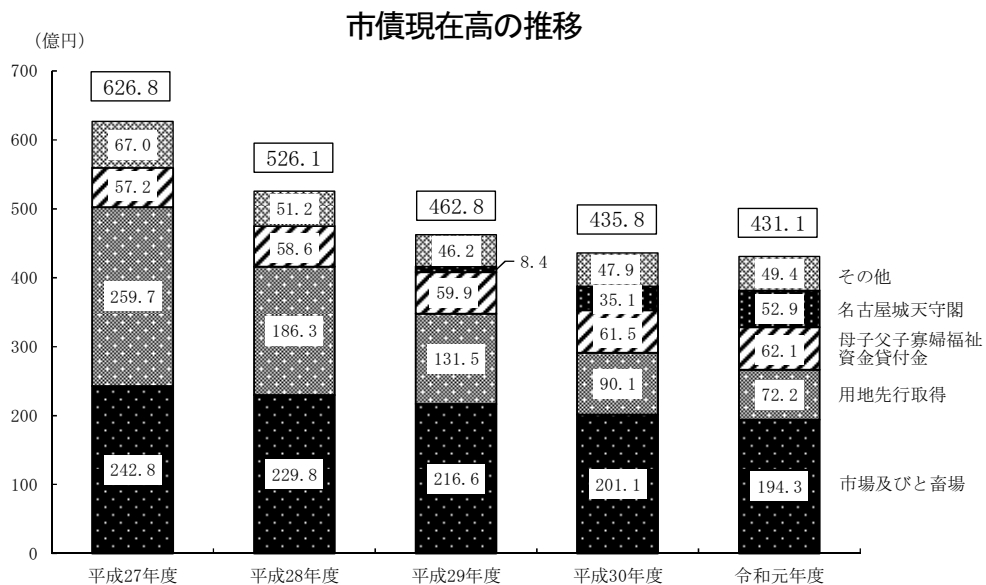
一般会計繰入金の推移は、次図のとおりである。



## カ 市債現在高の状況

特別会計の市債現在高の合計は 431億 1,601万円であり、前年度に比べ 4億 7,193万円（1.1%）減少した。これは主に、名古屋城天守閣特別会計における市債現在高が増加したものの、用地先行取得特別会計及び市場及びと畜場特別会計における市債現在高が減少したことによるものである。

市債現在高の推移は次図のとおりである。



## (2) 会計別決算状況

### ① 国民健康保険特別会計

当会計は、国民健康保険法及び名古屋市国民健康保険条例に基づき、本市が愛知県と共に保険者となり、他の健康保険に加入していない自営業者、農業従事者、年金受給者などを対象に療養の給付などの必要な保険給付を行うことを目的とするものである。

## ア 歳 入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
国民健康 保険収入	182,564,479	188,094,428	182,677,031	100.1	767,396	4,650,000	112,552	183,793,177	△ 1,116,146
保険料	46,621,760	52,780,689	47,466,608	101.8	757,896	4,556,184	844,848	48,193,714	△ 727,106
手数料	1	690	690	-	0	0	689	344	346
国庫支出金	49,000	27,182	27,182	55.5	0	0	△ 21,818	432	26,750
県支出金	135,445,066	134,702,686	134,702,686	99.5	0	0	△ 742,379	135,093,192	△ 390,505
諸収入	448,652	583,179	479,863	107.0	9,500	93,816	31,211	505,494	△ 25,631
繰入金	24,140,262	22,293,505	22,293,505	92.3	0	0	△ 1,846,756	22,700,000	△ 406,494
他会計繰入金	24,140,262	22,293,505	22,293,505	92.3	0	0	△ 1,846,756	22,700,000	△ 406,494
繰越金	136,587	450,920	450,920	330.1	0	0	314,333	3,252,122	△ 2,801,202
繰越金	136,587	450,920	450,920	330.1	0	0	314,333	3,252,122	△ 2,801,202
合 計	206,841,328	210,838,854	205,421,457	99.3	767,396	4,650,000	△ 1,419,870	209,745,300	△ 4,323,842

### 予算比較

予算現額は、当初予算額 2,060億 8,474万円に補正予算額 7億 5,111万円及び前年度繰越額 547万円を合わせた 2,068億 4,132万円である。決算額は 2,054億 2,145万円で、予算現額と比較すると14億 1,987万円（0.7%）の減少となっている。その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対予算差引額>	<主な理由>
繰 入 金	18億 4,675万円の減少	・保険料が予定を上回ったことによる一般会計繰入金の減
繰 越 金	3億 1,433万円の増加	・前年度における保険給付費が予定を下回ったことによる繰越金の増

不納欠損額は 7億 6,739万円であり、主に国民健康保険料の時効完成によるものである。

収入未済額は46億 5,000万円であり、主に国民健康保険料である。



### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 2,097億 4,530万円に比べて43億 2,384万円（2.1%）減少している。  
その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
繰越金	28億 120万円の減少	・前年度の収支残が減少したことによる繰越金の減
国民健康保険 収入	11億 1,614万円の減少	・被保険者数が減少したことによる保険料の減

### イ 歳 出

項目別	予算現額 A	決算額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度決算額 D	対前年度 差引額 B-D
		金額 B	執行率 (B/A)×100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
事業費	206,821,328	205,421,457	99.3	0	1,399,870	209,294,379	△ 3,872,922
運営費	4,427,589	4,285,227	96.8	0	142,361	4,187,782	97,445
保健事業費	1,469,819	1,058,484	72.0	0	411,334	1,116,910	△ 58,426
保険給付費	134,377,389	133,531,217	99.4	0	846,171	134,001,790	△ 470,572
国民健康保険 事業費納付金	66,144,188	66,144,185	100.0	0	2	66,442,763	△ 298,578
雑支出	402,343	402,342	100.0	0	0	3,545,132	△ 3,142,789
予備費	20,000	0	0	0	20,000	0	0
予備費	20,000	0	0	0	20,000	0	0
合 計	206,841,328	205,421,457	99.3	0	1,419,870	209,294,379	△ 3,872,922

### 予算比較

予算現額は、当初予算額 2,060億 8,474万円に補正予算額 7億 5,111万円及び前年度繰越額 547万円を合わせた 2,068億 4,132万円である。これに対して決算額は 2,054億 2,145万円であり、執行率は99.3%となっている。

不用額は14億 1,987万円であり、その主なものは次のとおりである。

<項別>	<不用額>	<主な理由>
事業費	13億 9,987万円	・一般被保険者の療養諸費が予定を下回ったことによる保険給付費の残

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 2,092億 9,437万円に比べて38億 7,292万円（1.9%）減少している。  
その主な理由は次のとおりである。

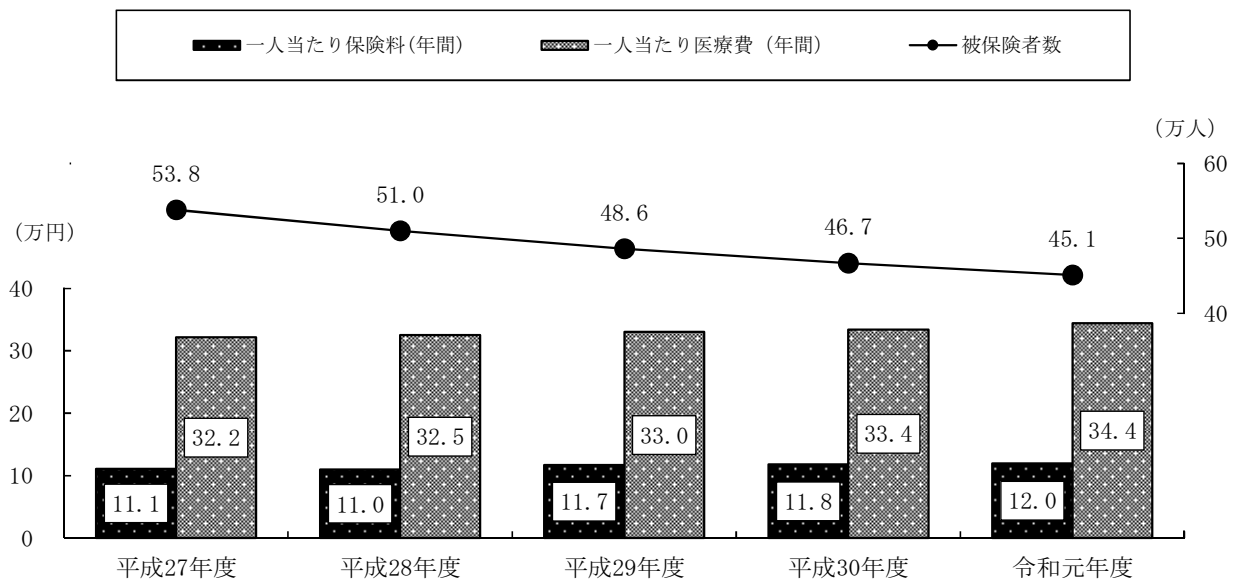
<項別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
事業費	38億 7,292万円の減少	・前年度の国庫支出金等の精算に伴う返還金が減少したことによる雑支出の減

## ウ 決算収支

歳入決算額 2,054億 2,145万円から歳出決算額 2,054億 2,145万円を差し引いた歳入歳出決算差引額は、0円である。

事業実績の推移は、次図のとおりである。

### 国民健康保険事業の推移



(注) 被保険者数は各年度末時点の人数である。

## ② 後期高齢者医療特別会計

当会計は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、75歳以上の人及び65歳から74歳で一定の障害のある人を対象に療養の給付などの必要な医療給付を行うことを目的とするものである。なお、後期高齢者医療制度は愛知県後期高齢者医療広域連合を保険者として運営されている。

### ア 歳 入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度 決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
後期高齢者医療収入	27,431,971	26,781,410	26,670,138	97.2	15,829	95,441	△ 761,832	26,742,992	△ 72,853
保険料	26,572,375	25,864,983	25,753,806	96.9	15,787	95,389	△ 818,568	24,914,235	839,570
手数料	1	18	18	-	0	0	17	12	5
諸収入	859,595	916,408	916,314	106.6	42	51	56,719	1,825,611	△ 909,297
〔国庫支出金〕	-	-	-	-	-	-	-	3,133	△ 3,133
繰入金	27,047,903	26,654,480	26,654,480	98.5	0	0	△ 393,422	25,023,773	1,630,706
他会計繰入金	27,047,903	26,654,480	26,654,480	98.5	0	0	△ 393,422	25,023,773	1,630,706
繰越金	1,641	1,274,181	1,274,181	-	0	0	1,272,540	1,204,979	69,201
繰越金	1,641	1,274,181	1,274,181	-	0	0	1,272,540	1,204,979	69,201
合 計	54,481,515	54,710,072	54,598,801	100.2	15,829	95,441	117,286	52,971,746	1,627,055

### 予算比較

予算現額は、当初予算額 544億 7,987万円に前年度繰越額 164万円を合わせた 544億 8,151万円である。決算額は 545億 9,880万円で、予算現額と比較すると 1億 1,728万円（0.2%）の増加となっている。その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対予算差引額>	<主な理由>
繰越金	12億 7,254万円の増加	・前年度に愛知県後期高齢者医療広域連合に対して未納付であった保険料が繰り越されたことによる繰越金の増
後期高齢者医療収入	7億 6,183万円の減少	・被保険者数が予定を下回ったことによる保険料の減
繰入金	3億 9,342万円の減少	・療養給付費負担金に係る前年度精算金が収入されたことによる一般会計繰入金の減

不納欠損額は 1,582万円であり、主に後期高齢者医療保険料の時効完成によるものである。

収入未済額は 9,544万円であり、主に後期高齢者医療保険料である。

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 529億 7,174万円に比べて16億 2,705万円（3.1%）増加している。  
その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
繰入金	16億 3,070万円の増加	・療養給付費負担金に係る前年度精算金の減少による一般会計繰入金の増

### イ 歳 出

項目別	予算現額 A	決算額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 差引額 B-D
		金額 B	執行率 (B/A)×100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
事業費	54,461,515	53,368,084	98.0	0	1,093,430	51,697,564	1,670,520
事務費	607,559	546,785	90.0	0	60,773	540,139	6,646
保健事業費	729,246	644,018	88.3	0	85,227	620,330	23,688
保険料納付金	26,572,377	25,797,225	97.1	0	775,151	24,847,805	949,419
保険基盤安定制度 負担金	4,668,695	4,535,525	97.1	0	133,169	4,500,302	35,223
療養給付費負担金	21,501,351	21,501,351	100	0	0	20,713,284	788,067
事務費負担金	382,287	343,177	89.8	0	39,109	475,701	△132,524
予備費	20,000	0	0	0	20,000	0	0
予備費	20,000	0	0	0	20,000	0	0
合 計	54,481,515	53,368,084	98.0	0	1,113,430	51,697,564	1,670,520

### 予算比較

予算現額は、当初予算額 544億 7,987万円に前年度繰越額 164万円を合わせた 544億 8,151万円である。これに対して決算額は 533億 6,808万円であり、執行率は98.0%となっている。

不用額は11億 1,343万円であり、その主なものは次のとおりである。

<項別>	<不用額>	<主な理由>
事業費	10億 9,343万円	・被保険者数が予定を下回ったことによる愛知県後期高齢者医療広域連合への保険料納付金の残

### 前年度比較

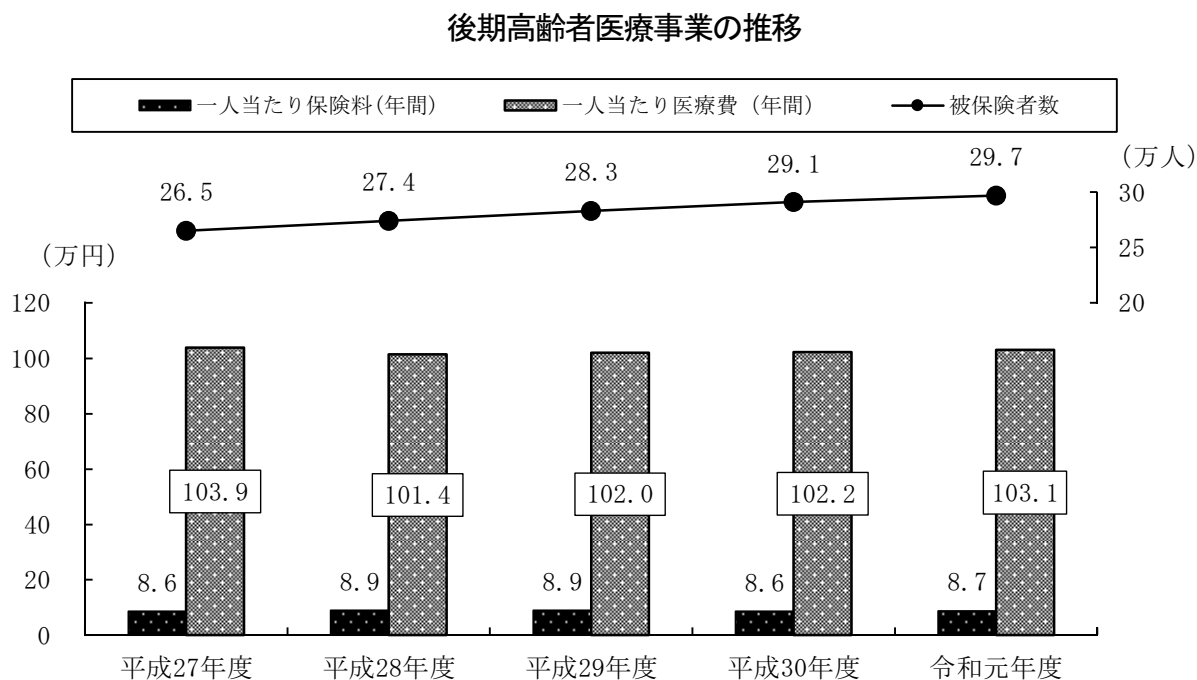
決算額は、前年度決算額 516億 9,756万円に比べて16億 7,052万円（3.2%）増加している。  
その主な理由は次のとおりである。

<項別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
事業費	16億 7,052万円の増加	・被保険者数の増加による保険料納付金の増

## ウ 決算収支

歳入決算額 545億 9,880万円から歳出決算額 533億 6,808万円を差し引いた歳入歳出決算差引額12億 3,071万円は、令和 2年度へ繰り越されている。

事業実績の推移は、次図のとおりである。



(注) 被保険者数は各年度末時点の人数である。

### ③ 介護保険特別会計

当会計は、介護保険法及び名古屋市介護保険条例に基づき、本市が保険者となり、65歳以上及び特定疾患がある40歳から64歳で要介護状態又は要支援状態にある者などを対象に、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付等を行うことを目的とするものである。

#### ア 歳 入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度 決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
介護保険収入	163,557,508	162,482,406	161,605,527	98.8	316,409	560,469	△ 1,951,980	159,785,696	1,819,831
保険料	42,120,082	43,160,076	42,455,030	100.8	169,908	535,137	334,948	43,247,593	△ 792,562
手数料	28,766	21,114	21,114	73.4	0	0	△ 7,651	16,893	4,221
国庫支出金	44,194,086	43,926,448	43,926,448	99.4	0	0	△ 267,637	42,966,286	960,161
支払基金 交付金	50,198,400	48,659,875	48,659,875	96.9	0	0	△ 1,538,524	47,950,126	709,748
県支出金	26,955,065	26,405,408	26,405,408	98.0	0	0	△ 549,656	25,452,918	952,490
諸収入	61,109	309,483	137,650	225.3	146,500	25,332	76,541	151,878	△ 14,227
繰入金	30,989,802	30,172,703	30,172,703	97.4	0	0	△ 817,098	27,424,086	2,748,617
他会計繰入金	30,989,802	30,172,703	30,172,703	97.4	0	0	△ 817,098	27,424,086	2,748,617
繰越金	2,382,710	5,544,736	5,544,736	232.7	0	0	3,162,026	3,935,728	1,609,007
繰越金	2,382,710	5,544,736	5,544,736	232.7	0	0	3,162,026	3,935,728	1,609,007
合 計	196,930,020	198,199,846	197,322,967	100.2	316,409	560,469	392,947	191,145,511	6,177,456

#### 予算比較

予算現額は、当初予算額 1,969億 2,849万円に前年度繰越額 153万円を合わせた 1,969億 3,002万円である。決算額は 1,973億 2,296万円で、予算現額と比較すると 3億 9,294万円（0.2%）の増加となっている。その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対予算差引額>	<主な理由>
繰越金	31億 6,202万円の増加	・前年度における保険給付費が予定を下回ったことによる繰越金の増
介護保険収入	19億 5,198万円の減少	・保険給付費が予定を下回ったことによる支払基金交付金の減
繰入金	8億 1,709万円の減少	・保険給付費が予定を下回ったことによる一般会計繰入金の減

不納欠損額は 3億 1,640万円であり、主に介護保険料の時効完成によるものである。

収入未済額は 5億 6,046万円であり、主に介護保険料である。

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 1,911億 4,551万円に比べて61億 7,745万円（3.2%）増加している。  
その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
繰入金	27億 4,861万円の増加	・低所得者の介護保険料の軽減強化による一般会計繰入金が増
介護保険収入	18億 1,983万円の増加	・保険給付費の増加による国庫支出金の増

### イ 歳 出

項目別	予算現額 A	決算額		翌年度 繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度決算額 D	対前年度 差引額 B-D
		金額 B	執行率 (B/A)×100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
事業費	194,528,841	191,026,304	98.2	0	3,502,536	183,984,700	7,041,603
運営費	6,122,608	6,104,912	99.7	0	17,695	5,315,787	789,124
保険給付費	176,421,580	173,881,948	98.6	0	2,539,631	167,595,146	6,286,802
地域支援 事業費	11,984,653	11,039,443	92.1	0	945,209	11,073,767	△ 34,323
他会計繰出金	2,381,179	2,381,179	100	0	0	1,616,075	765,104
基金会計 繰出金	2,381,179	2,381,179	100	0	0	1,616,075	765,104
予備費	20,000	0	0	0	20,000	0	0
予備費	20,000	0	0	0	20,000	0	0
合計	196,930,020	193,407,483	98.2	0	3,522,536	185,600,775	7,806,707

### 予算比較

予算現額は、当初予算額 1,969億 2,849万円に前年度繰越額 153万円を合わせた 1,969億 3,002万円である。これに対して決算額は 1,934億 748万円であり、執行率は98.2%となっている。

不用額は35億 2,253万円であり、その主なものは次のとおりである。

<項別>	<不用額>	<主な理由>
事業費	35億 253万円	・在宅サービスの利用者数が予定を下回ったことによる保険給付費の残

## 前年度比較

決算額は、前年度決算額 1,856億77万円に比べて78億 670万円（4.2%）増加している。その主な理由は次のとおりである。

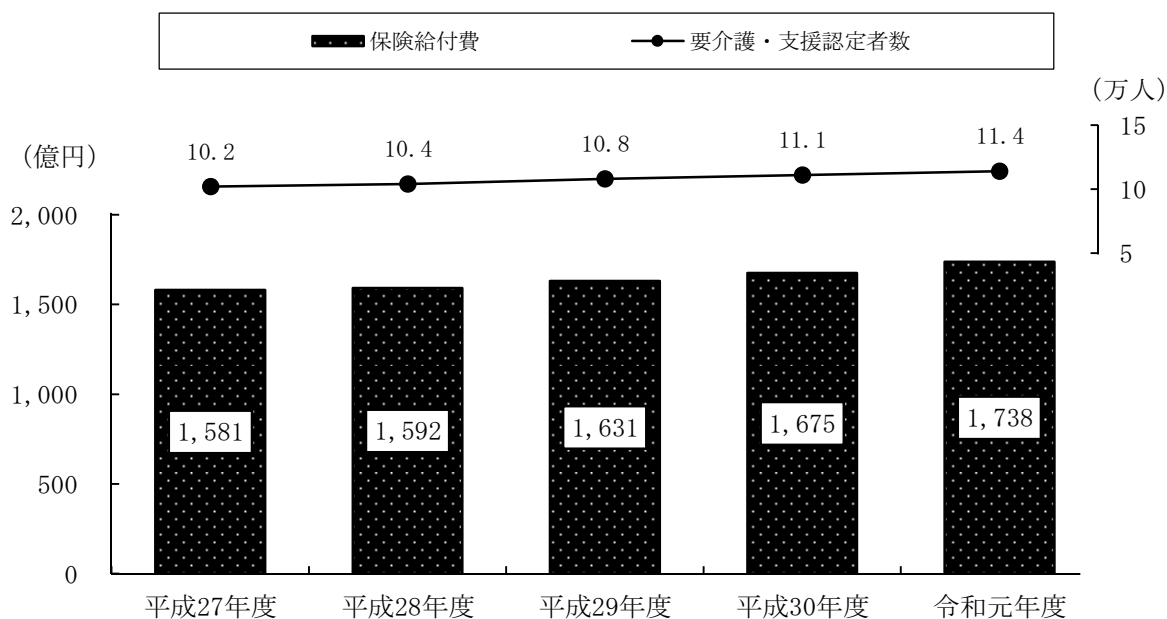
<項別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
事業費	70億 4,160万円の増加	・在宅サービスの利用者数が増加したことによる保険給付費の増

## ウ 決算収支

歳入決算額 1,973億 2,296万円から歳出決算額 1,934億 748万円を差し引いた歳入歳出決算差引額39億 1,548万円は、令和 2年度へ繰り越されている。

事業実績の推移は、次図のとおりである。

### 介護保険事業の推移



(注) 要介護・支援認定者数は各年度末時点の人数である。



#### ④ 母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計

当会計は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、母子家庭及び父子家庭並びに寡婦に対してその経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童の福祉を増進するため、資金貸付けを行うことを目的とするものである。

#### ア 歳 入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
母子父子寡婦 福祉資金収入	856,259	1,562,848	907,388	106.0	7,934	647,524	51,129	876,334	31,054
事業収入	856,259	1,562,848	907,388	106.0	7,934	647,524	51,129	876,334	31,054
繰入金	66,000	30,000	30,000	45.5	0	0	△ 36,000	77,000	△ 47,000
他会計繰入金	66,000	30,000	30,000	45.5	0	0	△ 36,000	77,000	△ 47,000
繰越金	179,000	229,837	229,837	128.4	0	0	50,837	146,489	83,347
繰越金	179,000	229,837	229,837	128.4	0	0	50,837	146,489	83,347
市債	132,000	60,000	60,000	45.5	0	0	△ 72,000	154,000	△ 94,000
市債	132,000	60,000	60,000	45.5	0	0	△ 72,000	154,000	△ 94,000
合 計	1,233,259	1,882,685	1,227,225	99.5	7,934	647,524	△ 6,033	1,253,824	△ 26,598

#### 予算比較

予算現額は、当初予算額の12億 3,325万円である。決算額は12億 2,722万円で、予算現額と比較すると 603万円（0.5%）の減少となっている。

不納欠損額は 793万円であり、貸付金元利収入に係るもので、借受人による時効の援用及び債権放棄によるものである。

収入未済額は 6億 4,752万円であり、主に母子福祉資金貸付金元利収入である。

#### 前年度比較

決算額は、前年度決算額12億 5,382万円に比べて 2,659万円（2.1%）減少している。

## イ 歳 出

項 目 別	予算現額 A	決 算 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度決算額 D	対前年度 差 引 額 B-D
		金 額 B	執行率 (B/A)×100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
事業費	1,233,259	975,246	79.1	0	258,012	1,023,987	△ 48,741
事務費	1,259	987	78.4	0	271	951	35
母子福祉資金 貸付金	1,111,000	897,897	80.8	0	213,102	952,213	△ 54,316
父子福祉資金 貸付金	55,000	44,880	81.6	0	10,119	39,443	5,436
寡婦福祉資金 貸付金	66,000	31,481	47.7	0	34,518	31,378	103
合 計	1,233,259	975,246	79.1	0	258,012	1,023,987	△ 48,741

### 予算比較

予算現額は、当初予算額の12億 3,325万円である。これに対して決算額は 9億 7,524万円であり、執行率は79.1%となっている。

不用額は 2億 5,801万円であり、その主なものは次のとおりである。

<目別>	<不用額>	<主な理由>
母子福祉資金 貸付金	2億 1,310万円	・修学資金の貸付実績が予定を下回ったことによる 貸付金の残

### 前年度比較

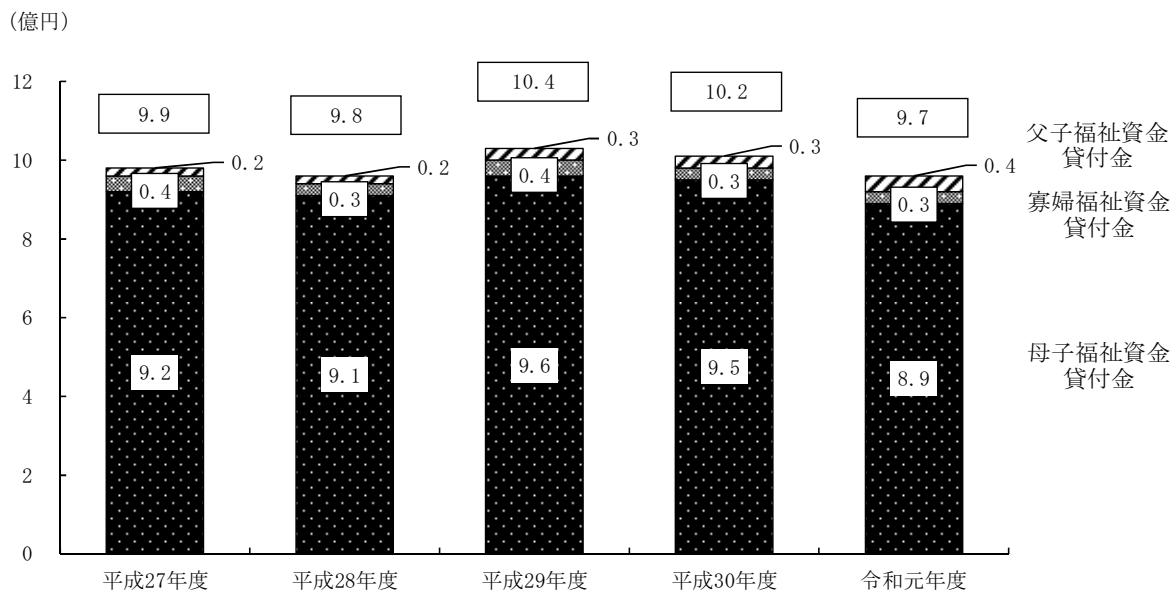
決算額は、前年度決算額10億 2,398万円に比べて 4,874万円（4.8%）減少している。

## ウ 決算収支

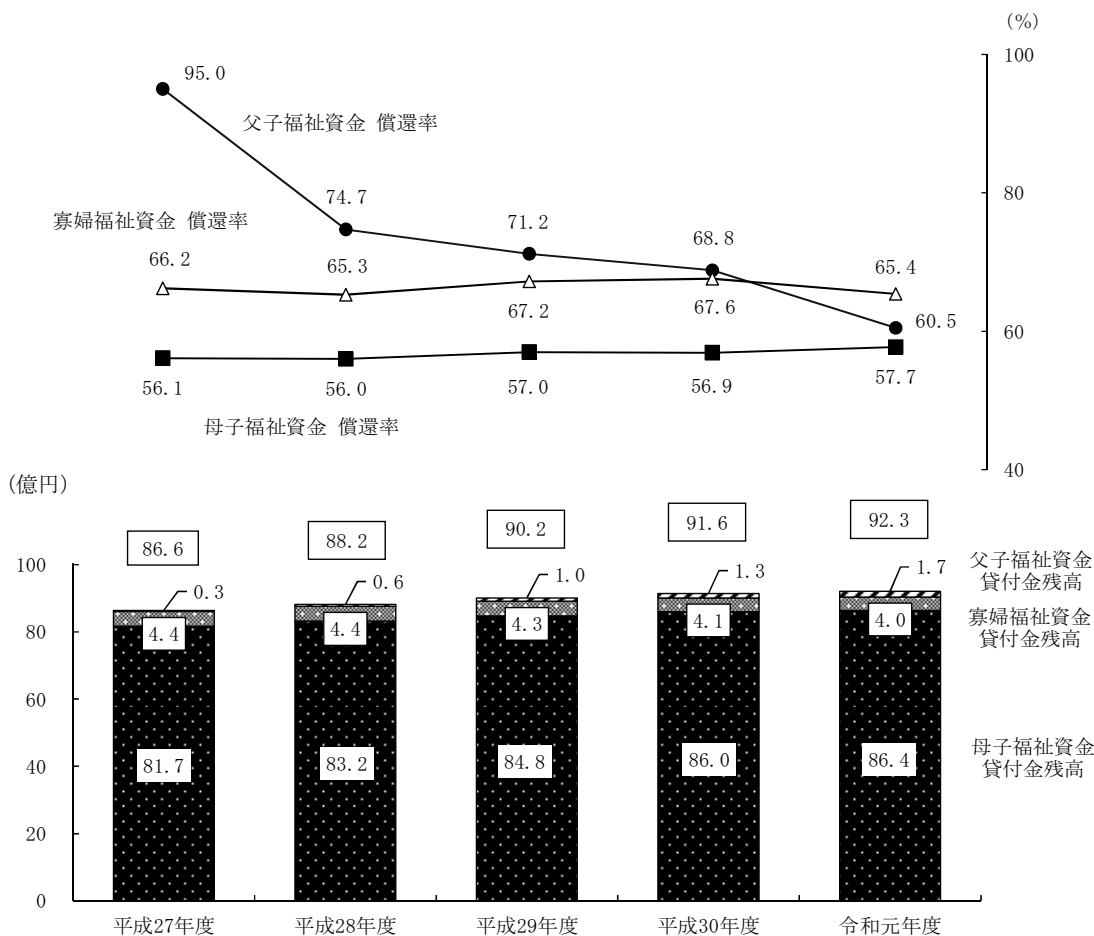
歳入決算額12億 2,722万円から歳出決算額 9億 7,524万円を差し引いた歳入歳出決算差引額 2億 5,197万円は、令和 2年度へ繰り越されている。

母子父子寡婦福祉資金貸付金の貸付状況、償還率及び貸付金残高の推移は、次図のとおりである。

### 母子父子寡婦福祉資金貸付金の貸付状況



### 母子父子寡婦福祉資金貸付金の償還率及び貸付金残高の推移



(注) 償還率は、各年度の収入すべき額に対する収入済額の割合である。

## ⑤ 市場及びと畜場特別会計

当会計は、卸売市場法及び名古屋市中央卸売市場業務条例に基づき設置した名古屋市中央卸売市場本場、北部市場、南部市場並びにと畜場法及び名古屋市南部と畜場条例に基づき設置した名古屋市南部と畜場の運営、整備を目的とするものである。

### ア 歳 入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度 決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
卸売市場収入	4,295,928	3,975,793	3,974,563	92.5	0	1,229	△ 321,364	4,147,154	△ 172,590
使用料及び手数料	2,632,674	2,624,164	2,623,564	99.7	0	600	△ 9,109	2,635,759	△ 12,195
財産収入	75	16	16	22.1	0	0	△ 58	16	0
繰入金	245,703	471	471	0.2	0	0	△ 245,231	320,256	△ 319,785
繰越金	1	0	0	0	0	0	△ 1	0	0
諸収入	443,475	518,141	517,511	116.7	0	629	74,036	358,121	159,390
市債	974,000	833,000	833,000	85.5	0	0	△ 141,000	833,000	0
食肉流通施設収入	3,699,180	3,603,207	3,603,214	97.4	0	△ 7	△ 95,965	3,520,346	82,868
使用料及び手数料	475,504	395,081	395,081	83.1	0	0	△ 80,422	434,480	△ 39,398
財産収入	474	484	484	102.2	0	0	10	469	14
繰入金	2,161,877	2,155,271	2,155,271	99.7	0	0	△ 6,605	2,209,352	△ 54,080
繰越金	1	0	0	0	0	0	△ 1	0	0
諸収入	871,324	873,369	873,376	100.2	0	△ 7	2,052	876,043	△ 2,667
市債	190,000	179,000	179,000	94.2	0	0	△ 11,000	-	179,000
合 計	7,995,108	7,579,001	7,577,778	94.8	0	1,222	△ 417,329	7,667,500	△ 89,722

### 予算比較

予算現額は、当初予算額77億 9,210万円に前年度繰越額 2億 300万円を合わせた79億 9,510万円である。決算額は75億 7,777万円で、予算現額と比較すると 4億 1,732万円（5.2%）の減少となっている。その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対予算差引額>	<主な理由>
卸売市場収入	3億 2,136万円の減少	・魚アラ処理公社残余財産の寄附により、財源を確保できたことによる繰入金の減

収入未済額は 122 万円であり、主に卸売市場使用料である。

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額76億 6,750万円に比べて 8,972万円（1.2%）減少している。

## イ 歳 出

款 項 別	予算現額 A	決 算 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 差 引 額 B-D
		金 額 B	執行率 (B/A) × 100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
卸売市場費	4,295,928	3,974,563	92.5	0	321,364	4,147,154	△ 172,590
事業費	2,023,525	1,862,228	92.0	0	161,296	1,908,356	△ 46,128
整備費	1,025,600	887,554	86.5	0	138,045	852,437	35,116
他会計繰出金	1,246,703	1,224,780	98.2	0	21,922	1,386,359	△ 161,578
予備費	100	0	0	0	100	0	0
食肉流通施設費	3,699,180	3,603,214	97.4	0	95,965	3,520,346	82,868
市場費	1,761,744	1,716,245	97.4	0	45,498	1,753,268	△ 37,022
と畜場費	1,014,732	965,841	95.2	0	48,890	854,661	111,180
他会計繰出金	922,604	921,127	99.8	0	1,476	912,417	8,710
予備費	100	0	0	0	100	0	0
合 計	7,995,108	7,577,778	94.8	0	417,329	7,667,500	△ 89,722

### 予算比較

予算現額は、当初予算額77億 9,210万円に前年度繰越額 2億 300万円を合わせた79億 9,510万円である。これに対して決算額は75億 7,777万円で、執行率は94.8%となっている。

不用額は 4億 1,732万円であり、その主なものは次のとおりである。

<款別>	<不用額>	<主な理由>
卸 売 市 場 費	3億 2,136万円	・光熱水費等の減により需用費が予定を下回ったことによる事業費の残

### 前年度比較

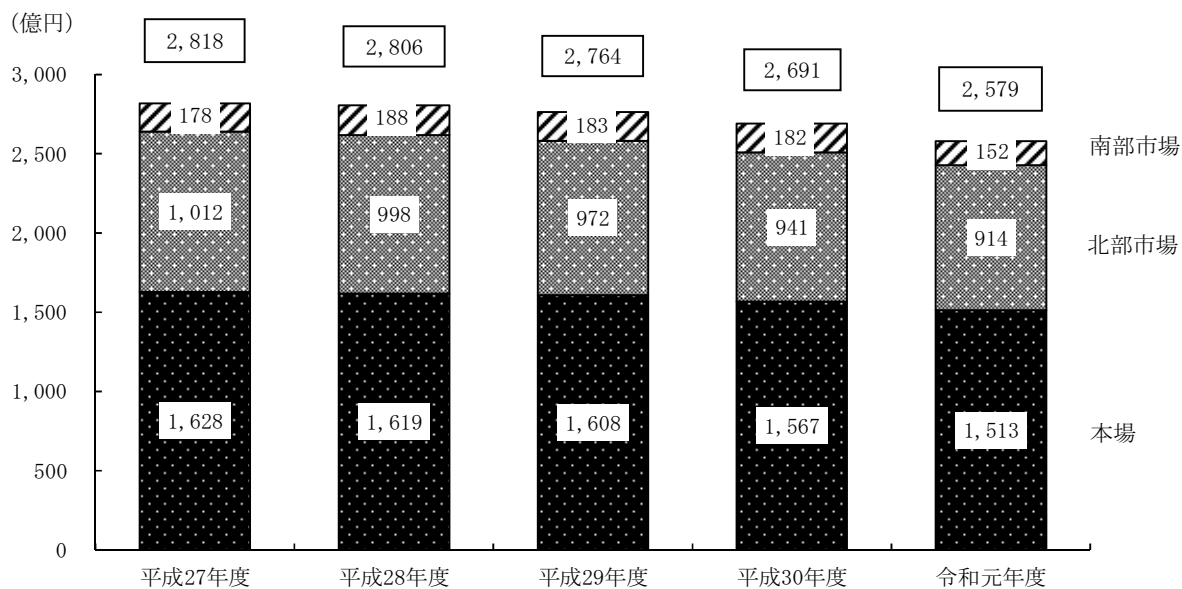
決算額は、前年度決算額76億 6,750万円に比べて 8,972万円（1.2%）減少している。

## ウ 決算収支

歳入決算額75億 7,777万円から歳出決算額75億 7,777万円を差し引いた歳入歳出決算差引額は、0円である。

中央卸売市場取扱高（金額）の推移は、次図のとおりである。

中央卸売市場取扱高（金額）の推移



## ⑥ 名古屋城天守閣特別会計

当会計は、名古屋城天守閣の木造復元事業の実施を目的とするものである。

### ア 歳入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠損額	収 入 未済額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度 決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
名古屋城天守閣 事業収入	200,000	62,495	62,495	31.2	0	0	△ 137,504	131,783	△ 69,287
寄附金	200,000	62,495	62,495	31.2	0	0	△ 137,504	131,783	△ 69,287
繰入金	518,884	392,650	392,650	75.7	0	0	△ 126,233	681,427	△ 288,777
他会計繰入金	518,884	392,650	392,650	75.7	0	0	△ 126,233	681,427	△ 288,777
市債	2,561,000	1,784,000	1,784,000	69.7	0	0	△ 777,000	2,668,000	△ 884,000
市債	2,561,000	1,784,000	1,784,000	69.7	0	0	△ 777,000	2,668,000	△ 884,000
合 計	3,279,884	2,239,146	2,239,146	68.3	0	0	△ 1,040,737	3,481,210	△ 1,242,064

#### 予算比較

予算現額は、当初予算額39億 6,131万円から補正予算額 9億 6,100万円を減額し、前年度繰越額 2億 7,957万円を合わせた32億 7,988万円である。決算額は22億 3,914万円で、予算現額と比較すると10億 4,073万円（31.7%）の減少となっている。その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対予算差引額>	<主な理由>
市 債	7億 7,700万円の減少	・実施設計に係る委託料が予定を下回ったことによる公債繰入金の減

#### 前年度比較

決算額は、前年度決算額34億 8,121万円に比べて12億 4,206万円（35.7%）減少している。その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
市 債	8億 8,400万円の減少	・木材の製材に係る費用が減少したことによる公債繰入金の減

## イ 歳 出

項 目 別	予算現額 A	決 算 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 差 引 額 B-D
		金 額 B	執行率 (B/A) × 100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
事業費	2,991,417	2,152,380	72.0	131,000	708,036	3,342,663	△ 1,190,282
事業費	229,917	185,572	80.7	0	44,344	450,211	△ 264,639
整備費	2,761,500	1,966,808	71.2	131,000	663,691	2,892,451	△ 925,643
他会計繰出金	288,467	86,765	30.1	0	201,701	138,547	△ 51,781
基金会計繰出金	200,000	62,495	31.2	0	137,504	131,783	△ 69,287
公債会計繰出金	88,467	24,269	27.4	0	64,197	6,764	17,505
合 計	3,279,884	2,239,146	68.3	131,000	909,737	3,481,210	△ 1,242,064

### 予算比較

予算現額は、当初予算額39億 6,131万円から補正予算額 9億 6,100万円を減額し、前年度繰越額 2億 7,957万円を合わせた32億 7,988万円である。これに対して決算額は22億 3,914万円で、執行率は68.3%となっている。

翌年度繰越額は、繰越明許費 1億 3,100万円であり、その内訳は次のとおりである。

#### 繰越明許費

<項別>	<事項>	<翌年度繰越額>
事業費	・天守閣木造復元の実施設計	1億 3,100万円

不用額は 9億 973万円であり、その主なものは次のとおりである。

<項別>	<不用額>	<主な理由>
事業費	7億 803万円	・実施設計に係る委託料が予定を下回ったことによる整備費の残

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額34億 8,121万円に比べて12億 4,206万円 (35.7%) 減少している。その主な理由は次のとおりである。

<項別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
事業費	11億 9,028万円の減少	・木材の製材に係る費用が減少したことによる整備費の減



## 主な新規・拡充施策等の決算状況

令和元年度における主な新規・拡充施策等の決算状況は、次のとおりである。

〈新規施策〉

事 項	予算現額 A	決算額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
		金額 B	執行率 (B/A)×100		
木造天守閣の昇降に関する新技術の公募	千円 40,931	千円 40,231	% 98.3	千円 0	千円 699

## ウ 決算収支

歳入決算額22億 3,914万円から歳出決算額22億 3,914万円を差し引いた歳入歳出決算差引額は、0円である。

⑦ 土地区画整理組合貸付金特別会計

当会計は、都市開発資金の貸付けに関する法律に基づく土地区画整理組合への資金貸付の実施を目的とするものである。

ア 歳 入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100 %					
事業収入	千円 150,000	千円 150,000	千円 150,000	% 100	千円 0	千円 0	千円 0	千円 264,532	千円 △ 114,532
貸付金収入	150,000	150,000	150,000	100	0	0	0	264,532	△ 114,532
市債	25,000	25,000	25,000	100	0	0	0	100,000	△ 75,000
市債	25,000	25,000	25,000	100	0	0	0	100,000	△ 75,000
繰入金	-	-	-	-	-	-	-	100,000	△ 100,000
他会計繰入金	-	-	-	-	-	-	-	100,000	△ 100,000
合 計	175,000	175,000	175,000	100	0	0	0	464,532	△ 289,532

予算比較

予算現額は、当初予算額の 1億 7,500万円であり、決算額は、予算現額と同額である。

前年度比較

決算額は、前年度決算額 4億 6,453万円に比べて 2億 8,953万円 (62.3%) 減少している。その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
事業収入	1億 1,453万円の減少	・徳重東部第二土地区画整理組合からの償還金の皆減による貸付金収入の減
繰入金	1億円の減少	・上志段味特定土地区画整理組合への貸付金の減少による他会計繰入金の皆減

イ 歳 出

項 目 別	予算現額 A	決 算 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度決算額 D	対前年度 差 引 額 B-D
		金 額 B	執行率 (B/A) × 100 %				
事業費	千円 50,000	千円 50,000	% 100	千円 0	千円 0	千円 200,000	千円 △ 150,000
貸付金	50,000	50,000	100	0	0	200,000	△ 150,000
他会計繰出金	125,000	125,000	100	0	0	264,532	△ 139,532
一般会計繰出金	50,000	50,000	100	0	0	132,766	△ 82,766
公債会計繰出金	75,000	75,000	100	0	0	131,766	△ 56,766
合 計	175,000	175,000	100	0	0	464,532	△ 289,532

## 予算比較

予算現額は、当初予算額の 1億 7,500万円である。これに対して決算額は予算現額と同額で、執行率は 100%となっている。

## 前年度比較

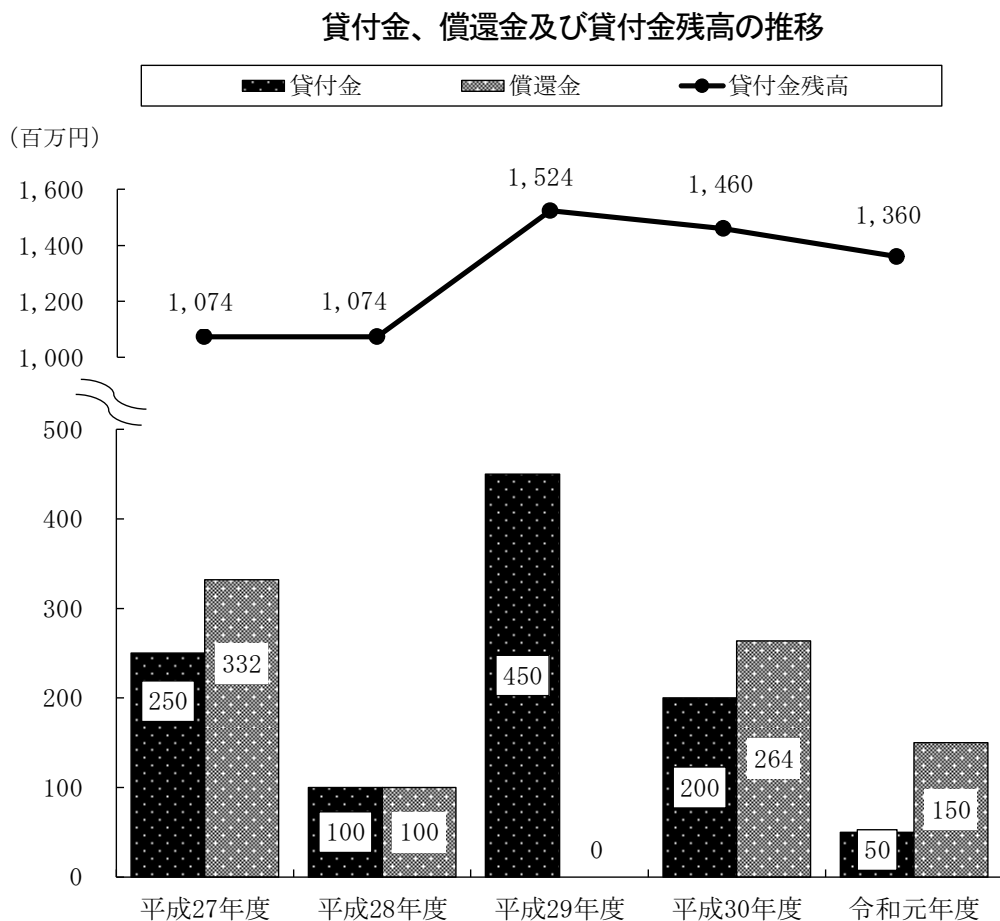
決算額は、前年度決算額 4億 6,453万円に比べて 2億 8,953万円 (62.3%) 減少している。その主な理由は次のとおりである。

<項別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
事業費	1億 5,000万円の減少	・上志段味特定土地区画整理組合への貸付金の減
他会計繰出金	1億 3,953万円の減少	・徳重東部第二土地区画整理組合からの償還金の皆減による一般会計繰出金の減

## ウ 決算収支

歳入決算額 1億 7,500万円から歳出決算額 1億 7,500万円を差し引いた歳入歳出決算差引額は、0円である。

貸付金、償還金及び貸付金残高の推移は、次図のとおりである。



### ⑧ 市街地再開発事業特別会計

当会計は、都市再開発法に基づく市街地再開発事業の実施を目的とするものであり、令和元年度末現在、「鳴海駅前地区」で事業を施行している。

#### ア 歳 入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100 %					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
市街地再開発 事業収入	30,529	31,717	31,717	103.9	0	0	1,188	97,102	△ 65,384
国庫支出金	6,529	0	0	0	0	0	△ 6,529	69,789	△ 69,789
諸収入	24,000	31,717	31,717	132.2	0	0	7,717	27,312	4,405
繰入金	334,172	299,534	299,534	89.6	0	0	△ 34,637	307,722	△ 8,187
他会計繰入金	334,172	299,534	299,534	89.6	0	0	△ 34,637	307,722	△ 8,187
市債	24,000	0	0	0	0	0	△ 24,000	253,000	△ 253,000
市債	24,000	0	0	0	0	0	△ 24,000	253,000	△ 253,000
繰越金	-	-	-	-	-	-	-	5,246	△ 5,246
繰越金	-	-	-	-	-	-	-	5,246	△ 5,246
合 計	388,701	331,251	331,251	85.2	0	0	△ 57,449	663,070	△ 331,819

#### 予算比較

予算現額は、当初予算額の 3億 8,870万円である。決算額は 3億 3,125万円で、予算現額と比較すると 5,744万円 (14.8%) の減少となっている。

#### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 6億 6,307万円に比べて 3億 3,181万円 (50.0%) 減少している。その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
市 債	2億 5,300万円の減少	・移転交渉の遅れに伴い建物等の移転がなかったことによる公債繰入金の皆減

## イ 歳 出

項 目 別	予算現額 A	決 算 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度決算額 D	対前年度 差 引 額 B-D
		金 額 B	執行率 (B/A)×100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
事業費	123,706	68,368	55.3	0	55,337	456,577	△ 388,208
事業費	123,706	68,368	55.3	0	55,337	456,577	△ 388,208
他会計繰出金	264,995	262,883	99.2	0	2,111	206,493	56,389
基金会計繰出金	24,000	24,000	100	0	0	24,000	0
公債会計繰出金	240,995	238,883	99.1	0	2,111	182,493	56,389
合 計	388,701	331,251	85.2	0	57,449	663,070	△ 331,819

### 予算比較

予算現額は、当初予算額の 3億 8,870万円である。これに対して決算額は 3億 3,125万円で、執行率は85.2%となり、不用額は 5,744万円である。

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 6億 6,307万円に比べて 3億 3,181万円 (50.0%) 減少している。その主な理由は次のとおりである。

<項別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
事業費	3億 8,820万円の減少	・移転交渉の遅れに伴い建物等の移転がなかったことによる公有財産購入費の皆減

### 主な新規・拡充施策の決算状況

令和元年度における主な新規・拡充施策等の決算状況は、次のとおりである。

#### <拡充施策等>

区分	事 項	予算現額 A	決 算 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
			金額 B	執行率 (B/A)×100		
		千円	千円	%	千円	千円
継続	鳴海駅前市街地再開発事業 (注)	41,956	3,517	8.4	0	38,438

(注) 鳴海駅前市街地再開発事業の執行率が低い主な理由は、移転交渉の遅れにより建物等の移転がなかったことに伴う執行残による。

## ウ 決算収支

歳入決算額 3億 3,125万円から歳出決算額 3億 3,125万円を差し引いた歳入歳出決算差引額は、0円である。

### ⑨ 墓地公園整備事業特別会計

当会計は、みどりが丘公園における墓地公園整備事業の実施を目的とするものである。

みどりが丘公園は、都市計画墓園として緑区鳴海町に整備中の墓地公園で、令和35年度までに、墓地47,000区画を整備予定であり、令和元年度末現在で26,469区画が整備されている。

#### ア 歳 入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
墓地整備事業収入	468,469	465,550	465,550	99.4	0	0	△ 2,918	508,280	△ 42,729
使用料	183,242	145,002	145,002	79.1	0	0	△ 38,239	208,931	△ 63,928
他会計繰入金	285,227	320,548	320,548	112.4	0	0	35,321	299,349	21,199
公園整備事業収入	875,224	858,353	858,353	98.1	0	0	△ 16,870	558,413	299,940
他会計繰入金	320,224	305,353	305,353	95.4	0	0	△ 14,870	225,413	79,940
市債	555,000	553,000	553,000	99.6	0	0	△ 2,000	333,000	220,000
合 計	1,343,693	1,323,904	1,323,904	98.5	0	0	△ 19,788	1,066,693	257,210

#### 予算比較

予算現額は、当初予算額の13億 4,369万円である。決算額は13億 2,390万円で、予算現額と比較すると 1,978万円（1.5%）の減少となっている。

#### 前年度比較

決算額は、前年度決算額10億 6,669万円に比べて 2億 5,721万円（24.1%）増加している。その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
公園整備事業収入	2億 9,994万円の増加	・公園用地の買戻しが増加したことによる公債繰入金の増

## イ 歳 出

款 項 別	予算現額 A	決 算 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度決算額 D	対前年度 差 引 額 B-D
		金 額 B	執行率 (B/A) × 100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
墓地整備事業費	468,469	465,550	99.4	0	2,918	508,280	△ 42,729
事業費	468,469	465,550	99.4	0	2,918	428,067	37,482
〔他会計繰出金〕	-	-	-	-	-	80,212	△ 80,212
公園整備事業費	875,224	858,353	98.1	0	16,870	558,413	299,940
事業費	757,368	746,189	98.5	0	11,178	452,569	293,620
他会計繰出金	117,856	112,164	95.2	0	5,691	105,844	6,319
合 計	1,343,693	1,323,904	98.5	0	19,788	1,066,693	257,210

### 予算比較

予算現額は、当初予算額の13億 4,369万円である。これに対して決算額は13億 2,390万円で、執行率は98.5%となり、不用額は 1,978万円である。

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額10億 6,669万円に比べて 2億 5,721万円 (24.1%) 増加している。その主な理由は次のとおりである。

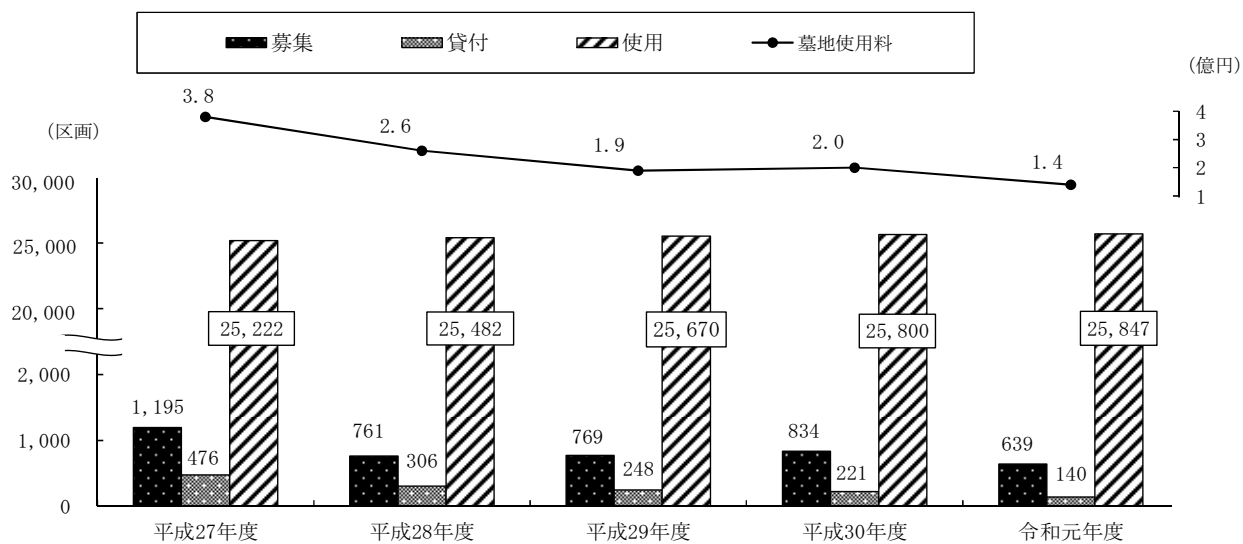
<款別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
公園整備事業費	2億 9,994万円の増加	・公園用地の買戻しが増加したことによる整備費の増

## ウ 決算収支

歳入決算額13億 2,390万円から歳出決算額13億 2,390万円を差し引いた歳入歳出決算差引額は、0円である。

墓地の募集区画数、貸付区画数及び使用区画数並びに墓地使用料収入の推移は、次図のとおりである。

墓地の募集・貸付・使用区画数及び墓地使用料収入の推移



(注) 募集：年度中に募集した区画数  
 貸付：年度中に新規に貸し付けた区画数  
 使用：年度末時点の使用区画数  
 墓地使用料は、新規の貸付時に永代使用料として一括納付される。



## ⑩ 基金特別会計

当会計は、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるために設置された基金の經理を行うことを目的とするものである。令和元年度は新たにリニア関連名古屋駅周辺地区まちづくり基金、アジア競技大会基金及び東山動植物園基金が設置された。

### ア 歳 入

款 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100 %					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
教育基金収入	156,311	139,258	139,258	89.1	0	0	△ 17,052	221,018	△ 81,760
住宅敷金積立 基金収入	612,516	493,984	493,984	80.6	0	0	△ 118,531	516,514	△ 22,530
名古屋城整備 積立基金収入	5,049	85	85	1.7	0	0	△ 4,963	72	13
名古屋城 本丸御殿 積立基金収入	32,479	21,337	21,337	65.7	0	0	△ 11,141	58,249	△ 36,911
名古屋城天守閣 積立基金収入	400,195	244,680	244,680	61.1	0	0	△ 155,514	354,798	△ 110,118
文化振興事業 積立基金収入	51,060	45,614	45,614	89.3	0	0	△ 5,445	46,819	△ 1,204
国際交流事業 積立基金収入	8,987	5,133	5,133	57.1	0	0	△ 3,853	5,709	△ 576
大規模施設整備 積立基金収入	724,513	106,604	106,604	14.7	0	0	△ 617,908	1,162,945	△ 1,056,340
リニア関連名古屋 駅周辺地区 まちづくり基金 収入	10,000,001	10,000,000	10,000,000	100.0	0	0	△ 1	-	10,000,000
高速度鉄道建設 積立基金収入	46	4	4	9.6	0	0	△ 41	6	△ 2
環境保全 基金収入	38,609	35,388	35,388	91.7	0	0	△ 3,220	97,984	△ 62,596
中区役所等管理 基金収入	90,808	53,948	53,948	59.4	0	0	△ 36,859	44,529	9,419
介護給付費準備 基金収入	3,257,223	3,254,851	3,254,851	99.9	0	0	△ 2,371	1,616,320	1,638,530

款 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100 %					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
災害対策事業 基金収入	6,223,792	5,780,945	5,780,945	92.9	0	0	△ 442,846	867,673	4,913,272
区まちづくり 基金収入	40,147	22,914	22,914	57.1	0	0	△ 17,232	23,980	△ 1,066
子ども・親総合 支援基金収入	1,183,508	775,034	775,034	65.5	0	0	△ 408,473	3,145,598	△ 2,370,563
アセットマネジ メント基金収入	84,240	62,921	62,921	74.7	0	0	△ 21,318	2,049,948	△ 1,987,026
アジア競技大会 基金収入	2,000,001	2,000,000	2,000,000	100.0	0	0	△ 1	-	2,000,000
公債償還 基金収入	92,520,687	92,205,324	92,205,324	99.7	0	0	△ 315,362	81,233,929	10,971,394
財政調整 基金収入	6,768,269	6,750,570	6,750,570	99.7	0	0	△ 17,698	9,614,415	△2,863,844
東山動植物園 基金収入	70,000	66,004	66,004	94.3	0	0	△ 3,995	-	66,004
合 計	124,268,441	122,064,606	122,064,606	98.2	0	0	△ 2,203,835	101,060,514	21,004,092

### 予算比較

予算現額は、当初予算額 1,239億 3,202万円に補正予算額 3億 1,138万円及び前年度繰越額 2,503万円を合わせた 1,242億 6,844万円である。決算額は 1,220億 6,460万円で予算現額と比較すると22億 383万円（1.8%）の減少となっている。

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 1,010億 6,051万円に比べて 210億 409万円（20.8%）増加している。

# イ 歳 出

款 別	予算現額 A	決 算 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度決算額 D	対前年度 差 引 額 B-D
		金 額 B	執行率 (B/A) × 100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
教育基金	156,311	139,258	89.1	0	17,052	221,018	△ 81,760
住宅敷金積立基金	612,516	493,984	80.6	0	118,531	516,514	△ 22,530
名古屋城整備積立基金	5,049	85	1.7	0	4,963	72	13
名古屋城本丸御殿積立基金	32,479	21,337	65.7	0	11,141	58,249	△ 36,911
名古屋城天守閣積立基金	400,195	244,680	61.1	0	155,514	354,798	△ 110,118
文化振興事業積立基金	51,060	45,614	89.3	0	5,445	46,819	△ 1,204
国際交流事業積立基金	8,987	5,133	57.1	0	3,853	5,709	△ 576
大規模施設整備積立基金	724,513	106,604	14.7	0	617,908	1,162,945	△ 1,056,340
リニア関連名古屋駅周辺地区まちづくり基金	10,000,001	10,000,000	100.0	0	1	-	10,000,000
高速度鉄道建設積立基金	46	4	9.6	0	41	6	△ 2
環境保全基金	38,609	35,388	91.7	0	3,220	97,984	△ 62,596
中区役所等管理基金	90,808	53,948	59.4	0	36,859	44,529	9,419
介護給付費準備基金	3,257,223	3,254,851	99.9	0	2,371	1,616,320	1,638,530
災害対策事業基金	6,223,792	5,780,945	92.9	58,350	384,496	867,673	4,913,272
区まちづくり基金	40,147	22,914	57.1	0	17,232	23,980	△ 1,066

款 別	予算現額 A	決 算 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度決算額 D	対前年度 差 引 額 B-D
		金 額 B	執行率 (B/A) × 100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
子ども・親総合 支援基金	1,183,508	775,034	65.5	0	408,473	3,145,598	△2,370,563
アセットマネジ メント基金	84,240	62,921	74.7	0	21,318	2,049,948	△1,987,026
アジア競技大会 基金	2,000,001	2,000,000	100.0	0	1	-	2,000,000
公債償還基金	92,520,687	92,205,324	99.7	0	315,362	81,233,929	10,971,394
財政調整基金	6,768,269	6,750,570	99.7	0	17,698	9,614,415	△2,863,844
東山動植物園 基金	70,000	66,004	94.3	0	3,995	-	66,004
合 計	124,268,441	122,064,606	98.2	58,350	2,145,485	101,060,514	21,004,092

### 予算比較

予算現額は、当初予算額 1,239億 3,202万円に補正予算額 3億 1,138万円及び前年度繰越額 2,503万円を合わせた 1,242億 6,844万円である。これに対して決算額は 1,220億 6,460万円、執行率は98.2%となり、不用額は21億 4,548万円である。

翌年度繰越額は、繰越明許費 5,835万円であり、その主な内訳は次のとおりである。

#### 繰越明許費

<款別>	<事項>	<翌年度繰越額>
災害対策事業基金	・一般会計繰出金 (河川・排水路の整備) (ブロック塀の撤去等) (民間認知症高齢者グループホームの非常用発電機 等整備補助)	5,835万円 ( 4,213万円) ( 1,403万円) ( 81万円)

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 1,010億 6,051万円に比べて 210億 409万円 (20.8%) 増加している。

## ウ 決算収支

歳入決算額 1,220億 6,460万円から歳出決算額 1,220億 6,460万円を差し引いた歳入歳出決算差引額は、0円である。

基金特別会計で整理する基金に属する財産の平成31年 4月から令和 2年 3月までの増減及び平成31年・令和 2年 3月末における現在高は、次表のとおりである。

種 別	区 分	平成31年3月末 現 在 高	増 減 高 (平成31年4月から 令和2年3月)	令和2年3月末 現 在 高
教 育 基 金	有価証券	千円 0	千円 0	千円 0
	現金	434,514	167,271	601,786
	計	434,514	167,271	601,786
住 宅 敷 金 積 立 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	4,156,715	△ 44,814	4,111,900
	計	4,156,715	△ 44,814	4,111,900
名 古 屋 城 整 備 積 立 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	42,794	70	42,865
	計	42,794	70	42,865
名 古 屋 城 本 丸 御 殿 積 立 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	1,545,503	28,500	1,574,004
	計	1,545,503	28,500	1,574,004
名 古 屋 城 天 守 閣 積 立 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	211,418	△ 91,202	120,215
	計	211,418	△ 91,202	120,215
文 化 振 興 事 業 積 立 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	1,019,939	△ 46,551	973,388
	計	1,019,939	△ 46,551	973,388
国 際 交 流 事 業 積 立 基 金	有価証券	1,498,740	0	1,498,740
	現金	769,234	△ 2,302	766,931
	計	2,267,974	△ 2,302	2,265,671
大 規 模 施 設 整 備 積 立 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	2,271,393	△ 1,066,513	1,204,880
	計	2,271,393	△ 1,066,513	1,204,880
リニア関連名古屋 駅周辺地区まちづ くり 基 金	有価証券	-	0	0
	現金	-	0	0
	計	-	0	0
高 速 度 鉄 道 建 設 積 立 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	43,905	4	43,910
	計	43,905	4	43,910
環 境 保 全 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	770,489	△ 96,525	673,964
	計	770,489	△ 96,525	673,964

種 別	区 分	平成31年3月末 現 在 高	増 減 高 (平成31年4月から 令和2年3月)	令和2年3月末 現 在 高
中 区 役 所 等 管 理 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	937,753	△ 44,371	893,382
	計	937,753	△ 44,371	893,382
介 護 給 付 費 準 備 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	1,160,263	1,616,225	2,776,488
	計	1,160,263	1,616,225	2,776,488
災害対策事業基金	有価証券	0	0	0
	現金	2,591,802	3,632,998	6,224,801
	計	2,591,802	3,632,998	6,224,801
区まちづくり基金	有価証券	0	0	0
	現金	26,559	3,957	30,517
	計	26,559	3,957	30,517
子 ども ・ 親 総 合 支 援 基 金	有価証券	0	0	0
	現金	3,000,000	△ 145,525	2,854,474
	計	3,000,000	△ 145,525	2,854,474
アセットマネ ジメント基金	有価証券	0	0	0
	現金	2,048,298	1,806	2,050,104
	計	2,048,298	1,806	2,050,104
アジア競技大会 基 金	有価証券	-	0	0
	現金	-	2,000,000	2,000,000
	計	-	2,000,000	2,000,000
公 債 償 還 基 金	有価証券	97,148,899	8,359,573	105,508,472
	現金	107,356,193	6,356,906	113,713,099
	運用金	0	0	0
	計	204,505,092	14,716,479	219,221,571
財 政 調 整 基 金	有価証券	39,478	0	39,478
	現金	16,729,999	△ 4,090,142	12,639,857
	計	16,769,477	△ 4,090,142	12,679,335
東山動植物園基金	有価証券	-	0	0
	現金	-	66,004	66,004
	計	-	66,004	66,004
合 計		243,803,896	16,605,371	260,409,268

## ⑪ 用地先行取得特別会計

当会計は、公共用地の先行取得及び都市開発資金による用地の先行取得を目的とするものである。

### ア 歳 入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
公共用地先行取得 資金収入	6,144,539	5,569,817	5,569,817	90.6	0	0	△ 574,721	7,469,496	△ 1,899,679
繰入金	1,275,862	1,253,051	1,253,051	98.2	0	0	△ 22,810	3,186,431	△ 1,933,380
振替収入	4,022,677	3,619,765	3,619,765	90.0	0	0	△ 402,911	3,978,064	△ 358,299
市債	846,000	697,000	697,000	82.4	0	0	△ 149,000	305,000	392,000
都市開発用地取得 資金収入	6,838,586	6,166,164	6,166,164	90.2	0	0	△ 672,421	2,755,871	3,410,293
繰入金	590,529	584,149	584,149	98.9	0	0	△ 6,379	665,601	△ 81,451
振替収入	5,548,057	5,149,015	5,149,015	92.8	0	0	△ 399,041	1,438,270	3,710,744
市債	700,000	433,000	433,000	61.9	0	0	△ 267,000	652,000	△ 219,000
繰越金	1,631	1,630	1,630	99.9	0	0	△ 1	1,400	230
繰越金	1,631	1,630	1,630	99.9	0	0	△ 1	1,400	230
合 計	12,984,756	11,737,612	11,737,612	90.4	0	0	△ 1,247,144	10,226,768	1,510,844

(注) 公共用地先行取得制度は、買戻しに際し用地取得費が起債対象となる事業用地が対象となる。

(注) 都市開発用地取得制度は、国の貸付制度であり、大規模公園（10ha以上）等の計画的な整備のために資金を借りることができ、買戻しに際し国庫補助が得られる事業用地が対象となる。

### 予算比較

予算現額は、当初予算額 129億 5,512万円に前年度繰越額 2,963万円を合わせた 129億 8,475万円である。決算額は 117億 3,761万円で、予算現額と比較すると12億 4,714万円（9.6%）の減少となっている。その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対予算差引額>	<主な理由>
都市開発用地取得 資金収入	6億 7,242万円の減少	・公園用地の買戻しが予定を下回ったことによる 振替収入の減
公共用地先行取得 資金収入	5億 7,472万円の減少	・公園用地の買戻しが予定を下回ったことによる 振替収入の減

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 102億 2,676万円に比べて15億 1,084万円（14.8%）増加している。  
その主な理由は次のとおりである。

<款別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
都市開発用地取得 資金収入	34億 1,029万円の増加	・公園用地の買戻しのための一般会計からの振替 収入の増
公共用地先行取得 資金収入	18億 9,967万円の減少	・市債償還のための他会計からの繰入金の減

### イ 歳 出

款 項 別	予算現額 A	決 算 額		翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度決算額 D	対前年度 差 引 額 B-D
		金 額 B	執行率 (B/A)×100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
公共用地先行 取得費	6,145,970	5,570,889	90.6	97,559	477,522	7,469,266	△ 1,898,377
取得費	854,627	700,108	81.9	97,559	56,960	307,333	392,774
他会計繰出金	5,291,343	4,870,780	92.1	0	420,562	7,161,932	△ 2,291,151
都市開発用地 取得費	6,838,586	6,166,164	90.2	0	672,421	2,755,871	3,410,293
取得費	703,000	434,058	61.7	0	268,941	653,183	△ 219,125
他会計繰出金	6,135,586	5,732,106	93.4	0	403,479	2,102,687	3,629,418
予備費	200	0	0	0	200	0	0
予備費	200	0	0	0	200	0	0
合 計	12,984,756	11,737,053	90.4	97,559	1,150,144	10,225,137	1,511,915

### 予算比較

予算現額は、当初予算額 129億 5,512万円に前年度繰越額 2,963万円を合わせた 129億 8,475万円である。決算額は 117億 3,705万円、執行率は90.4%となっている。

翌年度繰越額は、繰越明許費 9,755万円であり、その内訳は次のとおりである。

繰越明許費		
<款別>	<事項>	<翌年度繰越額>
公共用地先行 取 得 費	・公共用地の先行取得	9,755万円



不用額は11億 5,014万円であり、その主なものは次のとおりである。

＜款別＞	＜不用額＞	＜主な理由＞
都市開発用地 取得費	6億 7,242万円	・公園用地の買戻しが予定を下回ったことによる他 会計繰出金の残
公共用地先行 取得費	4億 7,752万円	・公園用地の買戻しが予定を下回ったことによる他 会計繰出金の残

### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 102億 2,513万円に比べて15億 1,191万円（14.8%）増加している。

その主な理由は次のとおりである。

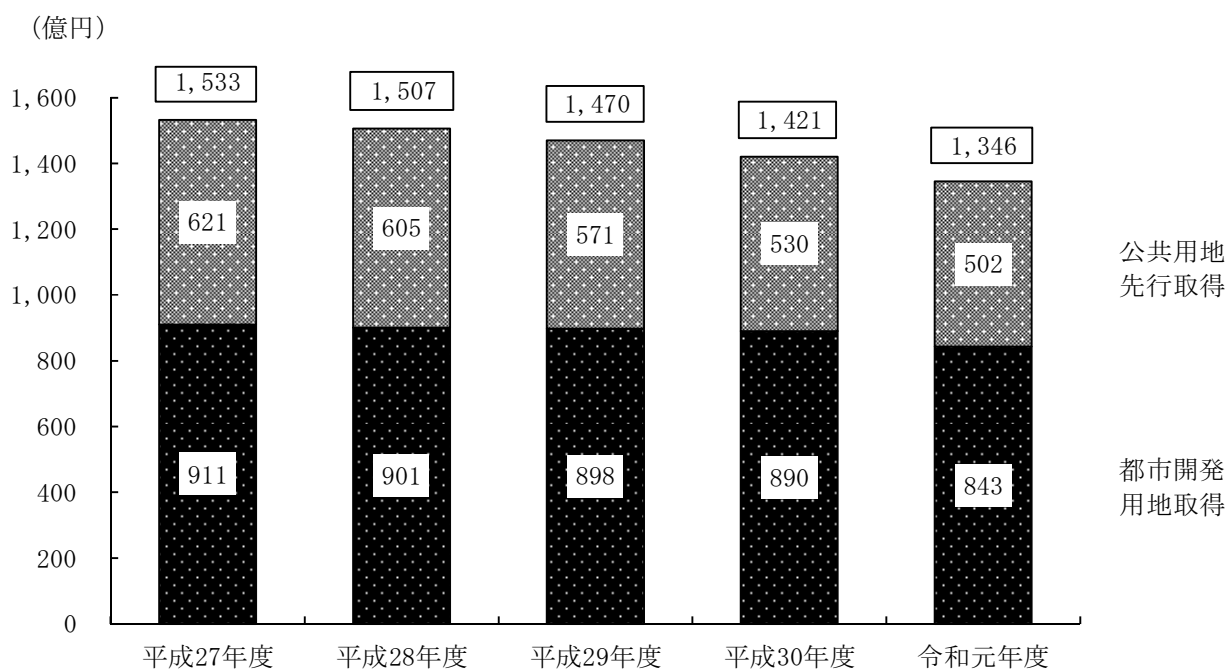
＜款別＞	＜対前年度差引額＞	＜主な理由＞
都市開発用地 取得費	34億 1,029万円の増加	・公園用地の買戻しによる一般会計への繰出金の増
公共用地先行 取得費	18億 9,837万円の減少	・市債償還のための公債特別会計への繰出金の減

### ウ 決算収支

歳入決算額 117億 3,761万円から歳出決算額 117億 3,705万円を差し引いた歳入歳出決算差引額55万円は、令和 2年度へ繰り越されている。

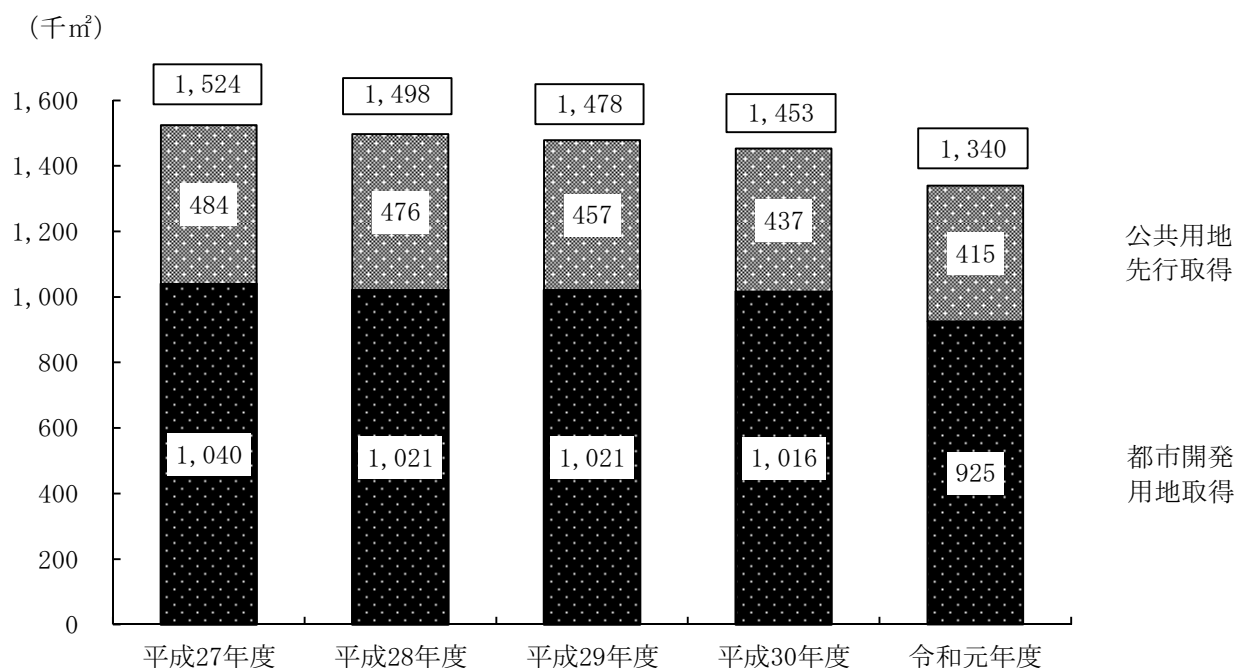
用地先行取得特別会計における土地の保有額及び面積の推移は、次図のとおりである。

### 保有額の推移



(注) 保有額には、取得金額と利子相当額を含む。

### 面積の推移



## ⑫ 公債特別会計

当会計は、各会計にわたる市債の経理を行うことを目的とするものである。

### ア 歳入

款 項 別	予算現額 A	調定額	決 算 額		不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と決 算額の差引額 B-A	前年度 決算額 C	対前年度 差 引 額 B-C
			金 額 B	対予算 (B/A) ×100					
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円
公債	264,640,000	216,405,000	216,405,000	81.8	0	0	△ 48,235,000	201,068,000	15,337,000
公債	264,640,000	216,405,000	216,405,000	81.8	0	0	△ 48,235,000	201,068,000	15,337,000
繰入金	265,397,250	263,333,545	263,333,545	99.2	0	0	△ 2,063,704	258,883,625	4,449,920
他会計繰入金	265,397,250	263,333,545	263,333,545	99.2	0	0	△ 2,063,704	258,883,625	4,449,920
繰越金	30,000	27,019	27,019	90.1	0	0	△ 2,980	27,703	△ 684
繰越金	30,000	27,019	27,019	90.1	0	0	△ 2,980	27,703	△ 684
諸収入	2	0	0	0	0	0	△ 2	0	0
雑入	2	0	0	0	0	0	△ 2	0	0
合 計	530,067,252	479,765,564	479,765,564	90.5	0	0	△50,301,687	459,979,328	19,786,235

#### 予算比較

予算現額は、当初予算額 4,907億 225万円に補正予算額 131億 7,100万円及び前年度繰越額 261億 9,400万円を合わせた 5,300億 6,725万円である。決算額は 4,797億 6,556万円であり、予算現額と比較すると 503億 168万円（9.5%）の減少となっている。その主な理由は次のとおりである。

<項別>	<対予算差引額>	<主な理由>
公 債	482億 3,500万円の減少	・下水道事業建設公債を始めとする公営企業債が翌年度に繰り越されたこと及び公共土木事業公債を始めとする土木債が予定を下回ったことによる

#### 前年度比較

決算額は、前年度決算額 4,599億 7,932万円に比べて 197億 8,623万円（4.3%）増加している。その主な理由は次のとおりである。

<項別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
公 債	153億 3,700万円の増加	・公営企業債の起債が増加したことによる

## イ 歳 出

款 項 別	予算現額 A	決 算 額		翌年度 繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 差 引 額 B-D
		金 額 B	執行率 (B/A)×100				
	千円	千円	%	千円	千円	千円	千円
繰出金	183,910,000	135,675,000	73.8	25,985,000	22,250,000	124,468,000	11,207,000
起債額繰出	183,910,000	135,675,000	73.8	25,985,000	22,250,000	124,468,000	11,207,000
公債費	346,157,252	344,062,812	99.4	0	2,094,439	335,484,309	8,578,502
公債償還金	298,145,573	296,251,066	99.4	0	1,894,506	287,557,091	8,693,975
公債事務費	827,039	627,105	75.8	0	199,933	596,737	30,367
他会計繰出金	47,184,640	47,184,640	100	0	0	47,330,480	△ 145,840
合 計	530,067,252	479,737,812	90.5	25,985,000	24,344,439	459,952,309	19,785,502

### 予算比較

予算現額は、当初予算額 4,907億 225万円に補正予算額 131億 7,100万円及び前年度繰越額 261億 9,400万円を合わせた 5,300億 6,725万円である。これに対して決算額は 4,797億 3,781万円、執行率は90.5%となっている。

翌年度繰越額は、繰越明許費 259億 6,500万円及び事故繰越し 2,000万円であり、その主な内訳は次のとおりである。

#### 繰越明許費

<項別>	<事項>	<翌年度繰越額>
起債額繰出	・一般会計繰出金	139億 5,500万円
	・下水道事業会計繰出金	100億 5,600万円
	・高速度鉄道事業会計繰出金	12億 2,600万円

#### 事故繰越し

<項別>	<説明>	<翌年度繰越額>
起債額繰出	一般会計繰出金	2,000万円

不用額は 243億 4,443万円であり、その主なものは次のとおりである。

<項別>	<不用額>	<主な理由>
起債額繰出	222億 5,000万円	・一般会計における起債額が予定を下回ったことによる

## 前年度比較

決算額は、前年度決算額 4,599億 5,230万円に比べて 197億 8,550万円（4.3%）増加している。その主な理由は次のとおりである。

<項別>	<対前年度差引額>	<主な理由>
起債額繰出	112億 700万円の増加	・下水道事業会計における起債額が増加したことによる
公債償還金	86億 9,397万円の増加	・元金の償還が増加したことによる

## ウ 決算収支

歳入決算額 4,797億 6,556万円から歳出決算額 4,797億 3,781万円を差し引いた歳入歳出決算差引額 2,775万円は、令和 2年度へ繰り越されている。

